



同好会ひろば

第262号
H29. 1. 11
No.5

平成29年の名古屋市社会科同好会は、研修部・研究部合同の例会でスタートします！

第5回授業づくり研修会 & 小・中学校合同部会研究発表会

平成29年1月17日(火) 18時30分 於 名古屋市中企業振興会館

今年度の「授業づくり研修会」は、活動基本方針「ともに創り出す」にちなんで、若手会員から研修内容の希望を聞き取り、ニーズに基づいた内容にしています。これまで実施した4回の研修会は、「資料づくり、資料活用」「学習問題のつくり方」「学習のまとめ方」「すぐに使える授業のアイデア」をテーマにし、演習形式や模擬授業形式で研修を進めて具体的に学ぶことができるように工夫しました。また、各学校の社会科主任宛てに案内を発送し、会員以外の先生方にも門戸を開いて、名古屋市社会科同好会の取り組みのよさを味わっていただくようにして、新規会員の獲得につなげようと考えています。

さて、今年度最終となる第5回授業づくり研修会を、1月17日(火)18時30分から行います。テーマは「評価の方法」です。「他の教科と比べると社会科の指導と評価は難しい」という先生方に向けて、すぐに授業で使えるアイデアを学ぶことができるようにしました。会員の皆様はもちろんのこと、同じ学校の先生方にも声を掛けていただき、奮ってご参加いただきたいと思います。

なお、同日、授業づくり研修会に引き続き、小・中学校合同部会研究発表会を行います。

各研究推進グループが進めてきた実践について発表します。発表を聞いていただき、今後の研究の方向性を見付けたり、授業の進め方のヒントを得たりすることができる機会にさせていただくと幸いです。

【第262号 紙面】

第5回授業づくり研修会	11月小・中学校部会 ご講演
小・中学校合同部会発表会 広報・・・(p1)	名古屋市教育委員会指導室
全小社研 名古屋大会 報告	指導主事 渡辺範人先生・・・・・・(p3)
全中社研 岡山大会 報告(p2)	11月小・中学校部会 活動報告
	今後の予定・・・・・・(p4)

全小社研 名古屋大会 報告 10月20日(木)・21日(金)

10月20日(木)・21日(金)の二日間、「ともに生き合う社会を目指す子どもたちの社会科学習 ～協働から参画を志向して～」をテーマに、第54回 全国小学校社会科研究協議会研究大会 名古屋大会が開催されました。

1日目は、開会行事、大会主題提案、全体指導講評、記念講演が行われました。文部科学省初等中等教育局視学官 澤井陽介先生からは「次期学習指導要領の改訂を視野に入れながら、現行の学習指導要領の趣旨を確かに実現することを念頭に進めてきているのが名古屋大会の研究である」と研究についての指導講評をいただきました。記念講演では、脳科学者の茂木健一郎氏から「脳科学と学び」というテーマでお話をいただきました。

2日目は白鳥小学校、御器所小学校、ほのか小学校にて、授業公開と基調提案、学年別授業研究会、学年別課題研究会が行われました。全国各地から参加していただいた先生方から、授業の進め方や子どもの育ちに対して好評をいただいたり、理論や授業についてのご意見をいただいたりしました。

全中社研 岡山大会 報告 11月17日(木)・18日(金)

11月17日(木)・18日(金)の二日間、「生きる力を培い、未来を創る社会科学習～自らの学びを見つめる学習活動～」をテーマに、第49回 全国中学校社会科教育研究大会 岡山大会が行われました。

1日目の記念講演では、国立教育政策研究所初等中等教育研究部長 大杉昭英氏から「社会科のこれまでとこれから一次期学習指導要領社会科を展望しつつ―」というテーマでお話がありました。また、基調提案では、1時間の授業で身に付けさせたい概念・知識(軸となる「こたえ」)を明確にするとともに、活用させ発展させたい既習の概念・知識も明確にした「系統表」を作成することの重要性が提案されました。

2日目は、地理的分野「中国・四国地方」、歴史的分野「鎌倉時代」、公民的分野「わたしが契約者!？」の公開授業がありました。午後からは、研究協議、分野別研究発表が行われ「系統表」や子どもが考えの変容を確認する「振り返り」についての議論が活発に行われました。



「人間の生き方を問い続ける」

名古屋市教育員会指導室 指導主事 渡辺 範人先生

はじめに

今日（11月29日）は、生きていればだが、親父の83回目の誕生日です。親父の病気や他界をきっかけに、「この世に生を受けた奇跡」について強く思うようになりました。人がこの世に生を受けたら、この世でやるべきことがあり、それを全うした段階で人生を終えるのではないかと思います。みなさんは何をするためにこの世に生を受けたか、教師として、また、社会科教師としての使命は何かを考えていただきたいと思います。作家は作品を残しますが、教師は自分が得たもの、経験を後輩に託すしかありません。今日は、自分の経験をもとに伝えていきたいと思いません。

教師に求められていることとは

教師は、子ども、保護者、地域の人など、人を相手にする職業で、人と対するとき求められるのが「想像力」です。例えば、保護者に電話する際に、ある言葉を相手はどう受け止めるか考える（聞く相手を想像する）と相手にしっかりと伝わります。保護者が聞きたくない子どもの問題行動等を伝えないといけない場合もあります。そんなとき、保護者がどのような気持ちになるのかを想像しながら話をすれば、嫌な気持ちのまま終わるのではなく、学校や先生方がしてほしいことに協力してもらえます。しかし、保護者の気持ちを想像せずに、事実のみを淡々と伝えたり、一方的に方針を示したりすると、問題の処理はできたとしても、保護者から不信感をもたれることとなります。このように、教師にとって「想像力」は必要不可欠なものです。

ところで、人に話をするとき、我々は経験を基に話をします。言い換えれば、経験でしか話をすることができません。だから、様々な経験をするのが大切になってきます。しかし、多くの経験を積むわけではありません。経験を補うのが読書だと思います。本を読み、こういう世界もあるのだと知ることによって経験不足を埋めることができます。どんな本でもよいので興味をもった本を読んで自分の幅を広げてほしいです。私も三日に一冊は読むように心がけています。

指導体験記録は過去を語り、研究員応募論文は未来を語る

指導体験記録は、自分の1年間の子どもの歩みを25枚にまとめたものです。最近、ねらいや方法、実践の結果のみ書かれる記録を多く目にし、型にはまっていて面白味が感じられません。1年間の取り組みの中で、先生方が思い悩み、子どもの姿から学び取ったことを、小説のように読むことができるように、ドラマティックに記述していったほしいと思います。一方、研究員応募論文は、未来を語るものです。論文を書く前に先行研究にしっかりとあたることが大切です。諸先輩方は偉大で、自分が取り組もうと思う手だてはたいてい行われています。だから、「先輩方の研究+ α 」でよいと思います。もし悩んだら先輩を訪ねてみるとヒントがもらえるはずです。

今日の演題「人間の生き方を問い続ける」は、過去の全中社研名古屋大会のテーマです。このテーマは極めて重く、究極です。みなさんがこの世に生を受けた理由は何かを平成34年の全中社研名古屋大会でも問い続け、名古屋魂を共に発揮しましょう。

11月小・中学校部会 活動報告 11月29日(火)於 名古屋市中企業振興会館

小学校部会では、推進部員一人一人が行った実践報告と、各学年グループの代表実践発表を行いました。各学年グループから発表された代表実践は以下の通りです。

グループ	単元名	実践の概要
3年生	「店ではたらく人」	スーパーマーケットとコンビニエンスストアを比較し、関連付ける活動を通して、自分の生活との結び付きを捉えることができた。
4年生	「事故や事件から暮らしを守る」	警察や地域の人々の取り組みの優位性について考えることを通して、安全な生活を送ることができる理由を明らかにすることができた。
5年生	「環境を守るわたしたち」	堀川の環境改善の取り組みについて調べ、分かったことを整理することを通して、今後の堀川の生かし方について考えることができた。
6年生	「世界に歩み出した日本」	学習計画表や学習の足跡を活用することで、日本の国際的地位が向上した理由を明らかにすることができた。

中学校部会では、3分野グループそれぞれの2学期実践報告を行いました。各分野グループから発表されたことは以下の通りです。

グループ	単元名	実践の概要
地理的分野	「東北地方」	郷土料理や祭りについて付箋紙を使って整理・共有し、自然的・社会的条件を克服しようとする人々の営みを踏まえて、地域的特色を捉えることができた。
歴史的分野	「明治維新と立憲国家への歩み」	明治政府の目指した国づくりについて「点数評価シート」を用いた話し合い活動を行い、為政者・民衆両方の視点から我が国の近代化の特色を捉えることができた。
公民的分野	「現代の民主政治」	投票率を高めるための解決策を、「効率」や「公正」の観点で検討し、効果的な解決策を見いだすことができた。

今後の予定

- 1月17日(火) 第5回授業づくり研修会 18:45～ 名古屋市中企業振興会館
「わくわく！子どもが目を輝かせる社会科の授業づくり」
～評価の方法を中心に～
小中合同部会研究発表会 19:15～ 名古屋市中企業振興会館
第2回若手会員交流会 21:00～ 風来坊 吹上店
- 2月8日(水) 2月全体会 18:45～ 名古屋市中企業振興会館
ご講演 名古屋市立小中学校長会社会科部会長
白鳥小学校長 小神一夫 先生